◆調整方法

①CATV 上り増幅帯域周波数を決めます。
上り流合雑音を抑えるために増幅周波数を「10～55MHz」、「30～55MHz」、「単方向(上りなし)」の 3 段階に切り換える機能があり、CATV 上り帯域切換スイッチにより切り換えます。

出荷時は下記の状態にセットされています。
○ CATV 上り帯域切換スイッチ：10～55MHz

②出力レベルの調整は、CATV 下り、CATV 上りの 2 帯域について各々独立して行います。
「出力モニタ端子」で信号レベルを監視しながら「利得調整器」、「チルト調整器」、「入力アッテネータスイッチ」で設定してください。
「出力モニタ端子」のモニタレベルは－20dB ですから、測定値に 20dB 加えた値が「出力端子」の信号レベルになります。

出荷時は下記の状態にセットされています。
○利得調整器：最小　　○チルト調整器：最小
○入力アッテネータスイッチ：－3 dB、－6 dB (CATV 上り)／－10dB (CATV 下り)

各出力端子レベルは下記の値以下に設定してください。

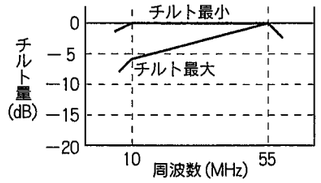
周波数帯域	出力端子レベル(dB μ)
CATV 上り	最大 105 以下 (2 波)
CATV 下り	最大 107 以下 (74 波)

(1)「チルト調整器」によるチルト量の調整

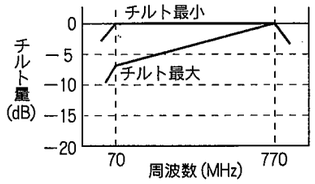
調整できる範囲は各々の周波数帯域により異なり時計方向に回すと下記の範囲でチルト量が大きくなります。
「チルト調整器」で調整できるのは、帯域の低い周波数側の信号レベルが高い場合のみで、レベルを下げることで帯域全体の信号レベルを平らにします。

周波数帯域	調 整 範 囲 (dB)	基 準 周 波 数
CATV 上り	0～－6 (連続可変)	55MHz を基準とした 10MHz
CATV 下り	0～－7 (連続可変)	770MHz を基準とした 70MHz

CATV 上り帯域



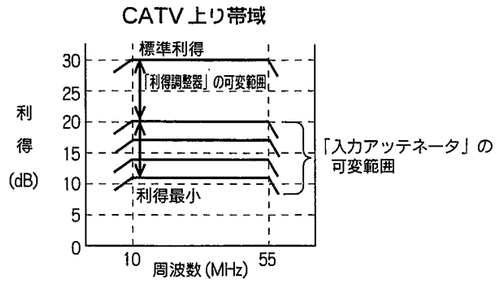
CATV 下り帯域



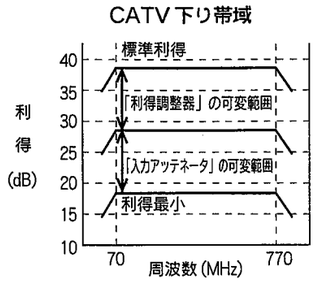
(2)「利得調整器」、「入力アッテネータスイッチ」による信号レベルの調整

出荷時、利得が最小にセットされています。
「利得調整器」で信号レベルを上げて最大出力レベルに近づくよう調整します。
ここで、最大出力に調整しきれない場合は「利得調整器」をいったん最小状態に戻し、「入力アッテネータスイッチ」を 0 dB に切り換えてから再度「利得調整器」で最大出力レベルを越えないように調整します。

CATV 上り帯域



CATV 下り帯域



◆確認検査

取付け施工後の調整が終了した後、各階のテレビ端子で画像を確認し、出力レベルが適正であることの検査をしてください。

● この製品は今後改良・性能向上のため、形状及び特性を変更することがあります。

八木アンテナ株式会社
〒337-8502　埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1406
http://www.yagi-antenna.co.jp

■ 製品に関するお問い合せ ■
048-687-8198
ご利用時間(土･日･祝日･弊社休業日を除く)
9:00～12:00 13:00～17:00

3GBJ041D0-04.10

YAGI

施工説明書

テレビ共同受信機器 双方向CATVブースタ

CATV-1A (屋内専用)

BL 型式 CATV-1

BL 優良住宅部品

お買いあげいただきありがとうございました。
ご使用前に、この**施工説明書・取扱説明書・安全上のご注意**をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
わからないことや故障したときにもお役立ていただくために**取扱説明書・保証書**は大切に保管してください。

◆関連法規

テレビ共同受信システム工事には下記の法律が適用されますので、良く確認のうえ施工してください。
・有線テレビジョン放送法　　・有線電気通信基本法

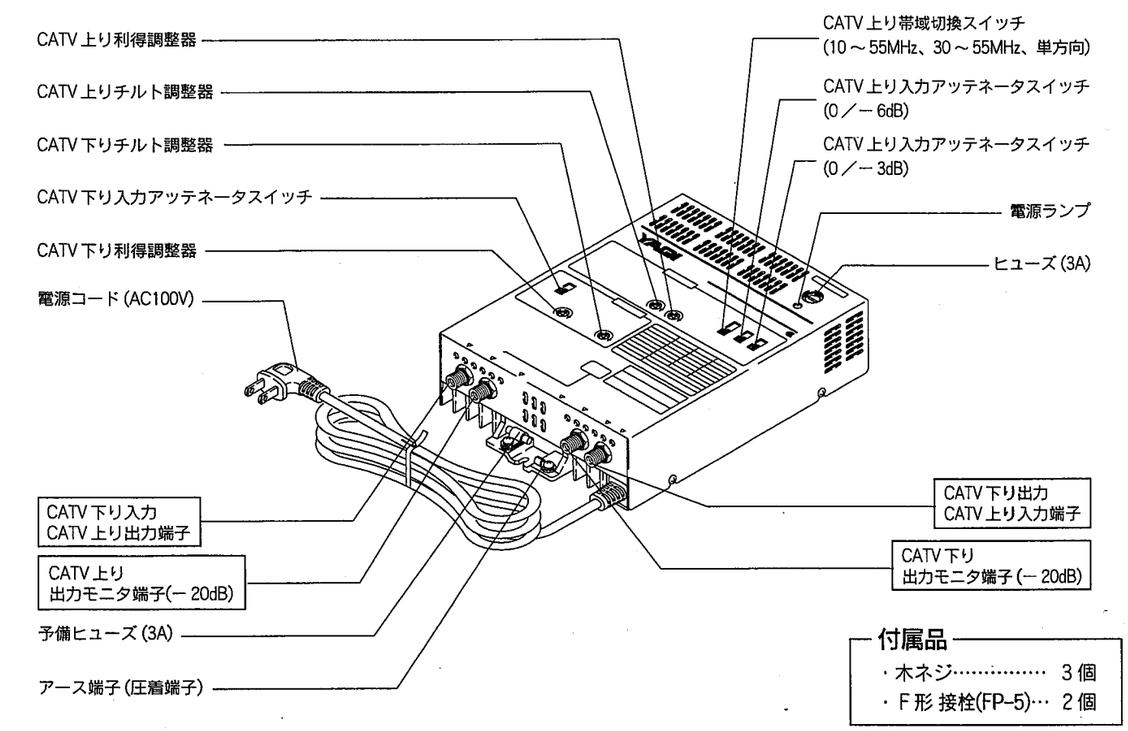
◆設置場所・条件

- 本器は屋内専用です。雨水等のかかる場所には設置しないでください。火災・感電の原因となります。なお、やむなく雨水等のかかる場所で使用する場合は本器を防水ケースに入れた上で設置してください。
- 高温 (40℃以上)、湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気の当たる場所、有毒ガスの発生する場所には設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本器を通気性の悪い収容箱 (分電箱・防水ケース等) に設置する場合は、放熱をよくするため 300 ㎜× 500 ㎜× 120 ㎜以上の容積の箱を使用してください。(P3 の収容箱寸法をご参照ください。)
- 機器の質量 (重量) に耐えられる場所に設置してください。落下によりケガ・機器の破損の原因となります。

◆使用部品の選択

本器の取付、配線には付属部品、および本施工説明書にて指定された部品をご使用ください。

◆外観・各部の名称



付属品
・木ネジ…… 3 個
・F 形 接栓(FP-5)… 2 個

八木アンテナ株式会社

◆安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お守りいただく内容の種類を絵表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

⚠警告

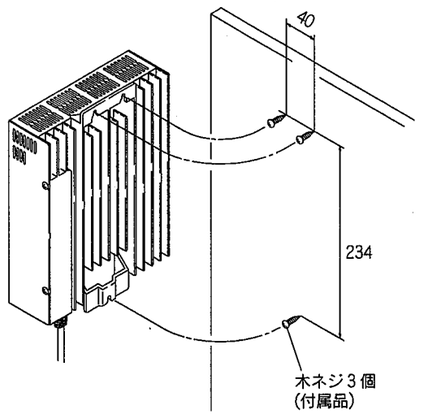
- **アース接続は必ず行なってください。**
  - ショートや落雷により、火災・感電の原因になります。
- **表示された電源電圧以外は使用しないでください。**
  - 火災・感電の原因になります。
- **屋内用機器は水のかかる場所に設置しないでください。**
  - ショートして火災・感電の原因になります。
- **雷が鳴り出したら機器や接続コードには絶対に触れないでください。**
  - 感電の原因になります。
- **電源プラグは、刃や刃の取り付け面にほこりがつかない様にしてください。また、ほこりが付着している場合はふき取ってください。**
  - 火災の原因になります。
- **カバーの通風孔をふさいだり、内部に異物を入れないでください。**
  - 火災・感電の原因になります。
- **ACアウトレットには表示されている電源容量を超える機器を接続しないでください。**
  - 火災の原因となります。
- **電源コードを傷つけたり、加工したり、加熱したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、たばねたりしないでください。**
  - 電源コードが破損して、火災・感電の原因になります。
- **電源コードや電源プラグが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。**
  - 火災・感電の原因になります。販売店にご連絡ください。
- **設置する時、移動する時、お手入れする時は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
  - ケガをしたり、火災・感電の原因になります。
- **煙が出る、変なにおいや音がする時は使用をやめてください。**
  - すぐ電源プラグを抜き、煙が出なくなるのを確認してから販売店に連絡してください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- **機器の質量（重量）に耐えられる場所に設置してください。**
  - 落下によりケガの原因になります。
- **水や異物が内部に入ったら電源プラグを抜いてください。**
  - そのまま、使用すると火災や感電の原因になります。販売店にご連絡ください。
- **機器の上には、水などの入った容器や物は置かないでください。**
  - 水がこぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- **修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。**
  - 火災、感電の原因になります。内部の点検、整備、修理は販売店にご連絡ください。
- **機器を落として破損した状態や故障状態では使用しないでください。**
  - 火災・感電の原因になります。販売店にご連絡ください。
- **ヒューズの交換をする時は電源プラグを抜き、必ず同一定格および形状のものを使用してください。**
  - 間違ったヒューズを使用すると、火災・感電の原因になります。交換したヒューズが再度断線した時は、販売店にご確認ください。
- **電源コードをはさみこんだり、電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。**
  - 電源コードが破損して火災・感電の原因になります。

⚠注意

- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**
  - 感電の原因になります。
- **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜いてください。**
  - 電源コードが破損して、火災・感電の原因なります。
- **湿気やほこりの多い場所に置かないでください。**
  - 火災・感電の原因になります。
- **長期間ご使用にならない時は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
  - 火災・感電の原因になります。
- **スイッチや利得調整器などは無理な力が加わると壊れることがあります。操作する場合は慎重にお取り扱いください。**
- **同軸ケーブルには、テレビ電波以外に電流が流れることがあります。同軸ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたりしないでください。**
  - 火災・感電の原因になります。
- **一般の人が容易に触れる所には設置しないでください。**
  - 感電・ケガの原因になります。

◆ケースの取付方法

- 本器は屋内設置専用です。雨水等のかかる場所には防水ケースに入れた上で設置してください。
- 付属の木ネジで本体をしっかり固定してください。

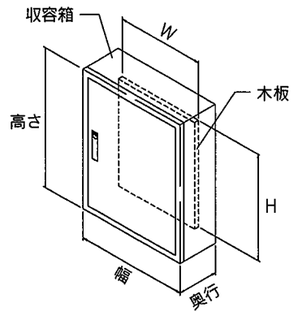


◆収容箱への設置

- 本器を収容箱（分電箱・防水ケース等）に設置する場合は、右表のサイズ以上の容積の箱を使用してください。
- 収容箱内にはブースタは1台までの収容としてください。本器の発熱により故障の原因となります。

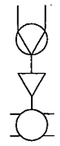
単位：mm

タイプ	収容箱			木板	
	幅	高さ	奥行	W	H
1	300	500	120以上	(200)	(400)
2	400	400	120以上	(300)	(300)



〈設置例〉

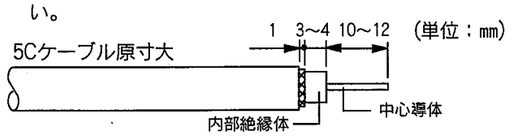
混合器……1個
ブースタ…1台
4分配器…1個



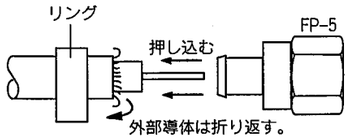
◆F形接栓の取付方法

- 付属のF形接栓（FP-5）は5Cケーブル用です。
- 衛星放送受信用にはS-5C-FBをご使用ください。

①ケーブルを図のように加工してください。
※衛星放送用S-5C-FBをご使用の場合、接触不良を避けるため中心導体に付着した白い膜は必ず取り除いてください。



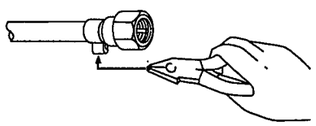
②ケーブルにリングを通し、FP-5接栓を内部絶縁体と外部導体（編組線）の間に押し込んでください。外部導体は予めカッターナイフの先端等で折り返しておいてください。



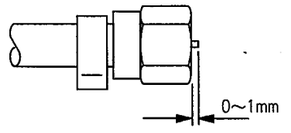
⚠注意

- ケガの原因となることがありますので、カッターナイフ・ニッパー等の使用については十分にご注意ください。また、芯線が指等に突き刺さらないようにご注意ください。

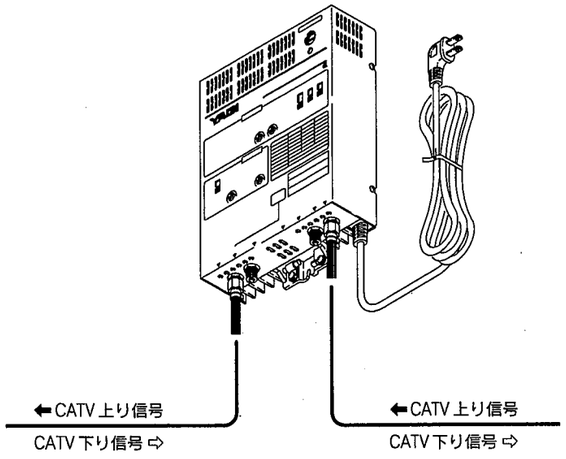
③リングをペンチで圧着し、FP-5接栓がケーブルから抜けないようにしてください。



④中心導体をニッパー等で図の寸法に切断して完成です。



◆ケーブルの接続方法



⚠注意

- 故障の原因や感電の原因となることがありますので、アース接続は必ず行ってください。

ご注意

F形接栓は2～2.5N·mのトルクで締め付けてください。規定値を超えるとF形接栓座が破損する恐れがあります。(参考：2～2.5N·m＝約20～25 kgf·cm)